



編集後記

世界で活動しているアーティストの satoly さんと、
不思議なカバン作りを体験しました！

令和5年度の第7回目の活動は、子ども12名、大人4名の合計16名が参加してくれました。今月の講座は、わくわくワークショップというタイトルで、モコモコカバン作りを体験しました。satoly 様は、釧路市出身（根室市育ち）で、元々看護師として働いていましたが、障害を持っている人と関わっていく内に、心や体に深い傷を負っている人に寄り添えるような作品を作りたいと強く思い、2013年にアーティストとしての活動を始めました。

今回は、外国の盲目の子ども達が体験した活動ということで、熱を加えるとモコモコと膨らむ魔法の絵の具を使った、カバン作りに取り組みました。

参加者は、好きな模様、絵や自分の名前などを自由にイメージしながらカバンの上に描いていました。また、子どもたち同士で描く内容を、話し合っている様子も見られて、交流の深まりも感じられました。絵の具に熱を加えているときには、大人も子供も歓声をあげたり、とても驚いていたり、まるで魔法にかかったような時間を過ごしていました。これからも、この事業に参加して、友達を作ったり、色々な講座を体験したりするなど自由自在にこの講座をみなさんに使って欲しいと感じました。来月は、クリスマス前に、一足早い鶴居村のクリスマスをお届けしますので、みなさんで奮ってご参加ください。

（編集者 吉田 綾稀）

活動の様子



・ 熱で絵の具を膨らます様子



・ satolyさんと集合写真

